

事例5

多世代交流

～ ここが私たちのふるさと 道に愛称をつけて地域愛を深めよう ～

【南区 寺子屋みなみ（地区型※）】

【事例】「道の愛称プロジェクト」（平成31年4月開始）

団体紹介

- ・団体名：ふるさと創生の会／南永田山王台連合町内会
（事業名：道の愛称プロジェクト）
- ・活動者の受講年度：平成30年度（第4期生）
- ・メンバー数：33人
- ・活動実績：（平成31年4月に道の愛称プロジェクトニュース1号を発行し、現在8号まで発行。）
- ・活用制度：みなみ・ちからアップ補助金



まち歩きの様子

活動内容

「道に愛称をつける活動を通じて、地域へのふるさと意識や愛着心を深めよう」という思いが地域で広がる中、平成30年度に南永田山王台地区で「寺子屋みなみ」が開催されました。3回の講座では「まずは、地域を歩いてみよう。」と30名程の参加者がまち歩きを体験。今まで気付かなかった小道を歩いたり、素晴らしい景色を見たりと、改めて地域の魅力を知ることができました。

卒業生がプロジェクトチームを結成し、まちの魅力や歴史を知ってもらうため、ワークショップを開催し、広報誌やホームページで幅広く発信することで、地域の学校も参加するなど、多世代にプロジェクトが浸透し、盛り上がりを見せています。

道の愛称を募集したところ、様々な世代から、300通近い応募がありました。コロナ禍で予定していたイベントを開催することができず、思うように活動が進まないこともありましたが、令和2年12月末には、27の道の愛称が決定！今後は27の道をどのようなコースで歩くと面白いのか、年代別、テーマ別に歩くコースを検討したり、愛称のプレート作りを企画中です。

「道の愛称プロジェクト」を通じて、地域が一体となり豊かなまちを創り出しています。

※区域全域を対象とした講座形式ではなく、地区連合町内会等の特定のエリアを対象に、その地区の課題解決の取組を通じて、連携する団体や参加者を広げ、担い手の育成につなげています。